

助け合い・
支え合いのできる
地域共生社会に向けて

ようあとうちら だより

2018年1月 発行
社会福祉法人
原村社会福祉協議会

2017年 11月 16日 (木)

我が事・丸ごとの 地域づくり講座を 開催しました！

どんな話をしたの？



みんな別々にやるよりも
一緒にやる方が
“生活のちょっと困った”を
解決できるね。

みんなのできる事を
福祉の村づくりに活かしたら
もっと“住み良い村”に
なるね。

中島先生の話

原村地域福祉計画
推進協議会アドバイザーの
長野大学社会福祉学部教授の話



2ページ

事例発表

地域での住民支え合い
の促進体制に向けて、
関係5団体が発表しました



3ページ

必見 グループワーク

10代～80代の男女80名が
9グループに分かれて
話し合いました！



4ページ
～

中島先生の話 要旨

村 原村地域福祉計画

国 「我が事・丸ごと」地域共生社会づくり

Q どんな経過で始まったの？

2015(平成27)年9月

厚生労働省

「新たな時代に対応した福祉の提供
ビジョン」(⇒地域共生という言葉が初出。)

2016(平成28)年6月

内閣府「ニッポン一億総活躍プラン」
(⇒地域共生社会の実現が盛り込まれる。)

2016(平成28)年7月「我が事・丸ごと」
地域共生社会実現本部の設置

2017(平成29)年2月

「地域共生社会」の実現に向けて
(当面の改革工程)を決定

2017(平成29)年9月 地域力強化
検討会 最終とりまとめ

まちづくりにつながる



地域共生社会の実現へ

Q 実現に必要なことは？

①地域課題解決力の強化

(⇒地域福祉計画の充実など)

②地域を基盤とする包括的支援の強化

(⇒全世代型の地域包括ケア) ※何年か試行錯誤必要

③専門人材の機能強化・最大活用

(⇒福祉に係わる資格の共通基礎課程の創設 試験の際の一部資格免除)

④地域丸ごとつながりの強化

(⇒多様な担い手の育成・参画、 社会保障の枠を超えて

地域資源と丸ごとつながる = 従来の福祉の枠を超えた地域づくり)

産業にも踏み込むので、今日は商工会にも来てもらった。

一つの形としての人材バンクを想定している。

Q 地域力強化検討会座長が示す、地域づくりの方向性は？

まちづくりにつながる

福祉コミュニティとして

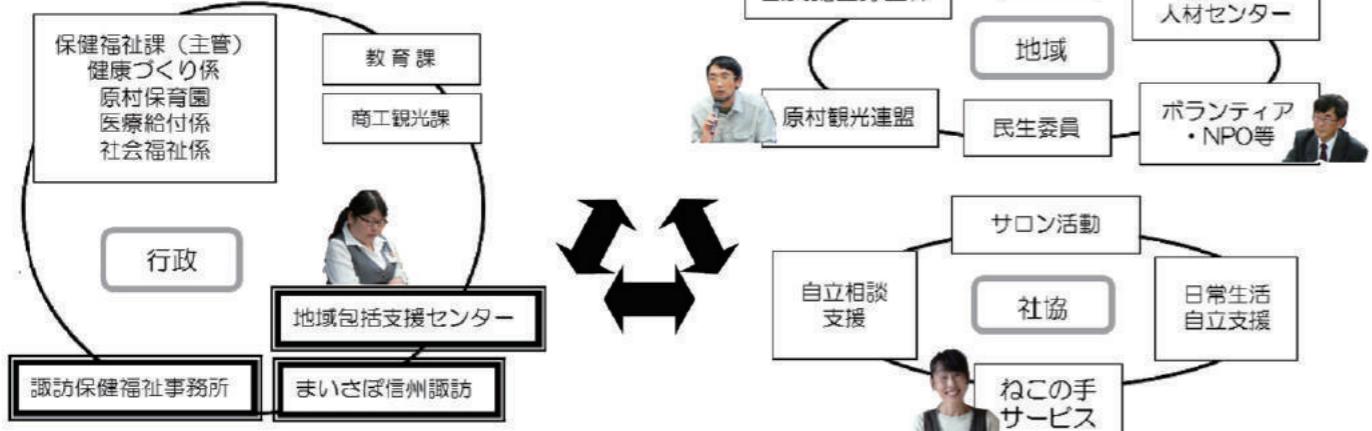
一人ひとりを支えることができる

地域の産業や文化、地域創生との連携
福祉分野以外との連携と基盤構築

福祉関係者とのネットワーク
対人援助の多職種連携

近隣のソーシャルサポートネットワーク
見守り、生活支援、居場所づくり

▼図1:原村における「地域での住民の支え合いの促進」体制の検討



地域共生社会とは

制度・分野ごとの「縦割り」や
「支え手」「受け手」という関係を
超えて、地域住民や地域の多様
な主体が『我が事』として参画し、
人と人、人と資源が世代や分野を
超えて『丸ごと』つながることで、
住民一人ひとりの暮らしと
生きがい、地域とともに
創っていく社会



原村地域包括支援センター
北澤 真美氏

● 介護保険 の話

● 交通の足について

高齢の移住者の中で交通の足のことが問題になっています。

若いうちは車が運転できてどこにでも行けました。

しかし、高齢になり運転をしなくなつてから、どこにも行けず孤立状態で
買い物難民となります。

近隣の方が声を掛けて一緒に行くこともある一方で、気兼ねもあるようです。

● 定年後にご夫婦で原村に移住した例

長年、原村に住まわれていましたが交通の問題で“やはり住めない”と
都会に戻られました。『私ね、原村大好きなの、山が大好き、いいとこだったわ。残念』
とおっしゃっていました。



原村ねこの手サービス
遊佐 陽子氏

● 私達のできる事

ねこの手サービスを始める前にとった住民アンケートでは、輸送サービスを利用したいという
意見が多かったです。しかし、現在も輸送サービスができないため課題となっています。
運輸省の決まりで、一般の方が人を乗せて、その分の移動の代金をもらうことはできません。
買い物へ一緒にやって、自分の目で商品を見たい、どんな品物があるのか確かめたいと思
われている方は多いようです。

受診介助も、自宅から病院まで協力会員の車で一緒に移動ができないので、
タクシーや社協の移送サービス、親戚へお願いなどして移動手段をとっています。



原村いきいきクラブ
阿部 泰和氏

● 多世代交流の可能性

子どもの元気な姿を見ると高齢者も元気になる。
ふれあい保育はつくづく大事と感じている。



原村観光連盟
石川 高明氏

● 人材の活用について

野鳥に詳しい方・山野草に詳しい方がいた時に、中央公民館の企画等で人材のデータベース
を見て「この人にお願いしたらいいかも」という風に使つたらよいのではないかと思っている。
「こんな達人が村にいるので観光連盟に連絡してください」といった情報の出し方を村と
模索している。

個人としても、登山教室をしている。せっかく近くに山があるので歩きたい方をつなぎたい。
観光で健康増進もあると思う。色々なつながりを模索していきたい。

● 年間活動 の話



原村商工会
山崎 義夫氏

● 企業ガイドブック

現状の原村商工会会員名簿は名前ばかりで何もわからないので、
水道管が破裂した時に対応できる事業所など、生活に役立つ名簿を作っていくたい。

事例発表PICK UP

◆グループワークで出たことをまとめました。

障がい者福祉
(バリアフリーなど)

相談窓口がない

障がい者の
仕事場
欲しいなあ



盆踊りの復活を!



山の手入れ

芸能



原村の困りごと

～あなたの困りごとはあるかな?
できることは何かな?～



子ども

No.2
交通手段

買い物するのに
送ってくれねえかな?



朝の通学便
いっぱい

便が少ない

病院への
つきそい



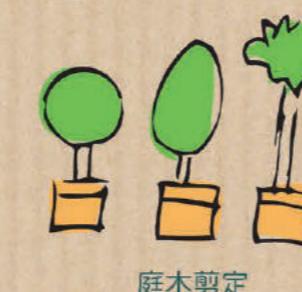
枝が道路に出ると
邪魔だな～

遊びに行くにも
買い物にも車いる
免許返納したら
どうしよう?



仕事

高齢者の
介護



庭木剪定

No.1
身の周りのこと

インターネットできねえと
知らねえ事多いなあ



急な入院!
動物の世話
どうしよう



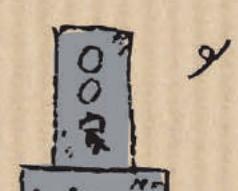
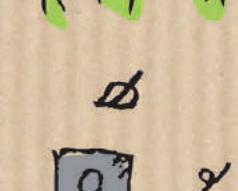
雨の日のゴミ出し
すべて怖い



高齢者



カメムシ
くさいよ～



近所付き合いなくて
SOS出せない

受動喫煙

あの家
子どもを
見られない
みたい

心配になっても
「関わらないで!」
と言われる



雨どいの
落ち葉

No.3
近所づきあい
コミュニケーション

廃屋・空家



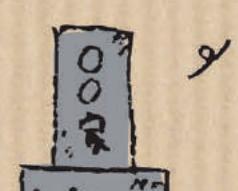
地元の人と
話したい!



室内板

店の紹介含む
道案内

景観



墓地の掃除

▼ 図2：“ちょっと困ってる事”で特徴的な単語（175個のご意見）

A collage of Japanese words and characters in various colors and sizes, centered around the theme of 'elderly care'. The words include: 行ける (travel), 集まる (gather), 支援 (support), 思う (think), 不安 (anxiety), 見守る (watch over), うごく (move), 困難 (difficulty), 辛い (painful), なくなる (disappear), 買物 (shopping), 雪かき (snow removal), 原村 (Ochiai), 生活 (life), 出来る (available), 大きい (large), 嬉しい (happy), 広い (wide), 無い (none), 将来 (future), 高齢者 (elderly person), 草取り (weed removal), 子ども (child), 地区 (district), 少ない (few), 草刈り (grass cutting), 行く (go), 送迎 (transportation), 若者 (youth), 每日 (every day), サービス (service), 必要 (necessary), 活動 (activity), できる (able), 介護 (care), 多い (many), 場所 (place), 食べる (eat), 早い (early), 近く (nearby), 道路 (road), とおい (old), 老人 (elderly person), 閉じこもる (stay at home), 居場所 (living place), 教える (teach), くれる (give), バス (bus), 出せる (allow), 困る (confused), 高校生 (high school student), 忙しい (busy), 悪い (bad), くさい (smelly), 大変 (difficult), でかい (big), いい (good), 出かける (leave), 欲しい (want), 出る (come out), ちゃう (wrong).

図2と図3は、株ユーチャローカルのテキストマイニングツールを利用し、特徴的な単語を大きく表示しました。

1 “ちょっと困っている事”何がある？ 前ページ&図2を参照

共感できる事、解決できそうな事を是非探して身近な方と話してみて下さい。

困り事の対象として、「高齢者」「子ども」「高校生」「若者」「障がい者」「景観」「観光」「芸能」が挙がりました。

困り事の実例として、「買物」「草刈り・草取り」「雪かき」や「出かける」事に伴う「送迎」「閉じこもり」「運転」「バスの少なさ」「居場所の少なさ」などが指摘されました。

2 “ちょっとした手伝い”何ができる？

一方で、手伝える事として「話し相手」「身近な手伝い（買物・草刈り・見守り）」や「専門につなぐ・友人に頼む」など困り事を地域で解決できそうな兆しが伺えました。



▼ 図3：“ちょっとした手伝い”で 特徴的な単語（89個のご意見）

買い物 話し相手 高齢者

困る 受ける ガイド ぽい
出す 対応 近く つなぐ 預かる 持つ 良い
子どもの遊び つなげる 草刈り 集める もらう
できる 作り 見守る サービス 考える
作る ハイキング お年寄り 問う
運動 出し ゴミ とる 散歩
水泳 動ける 相談 個人的 高齢者 集まる
動ける 英語 研修 健康増進 お手伝い 不定期 使い方
年齢 手伝い つくる つくる
よい くさい 子ども 場所 出来る
料理 行く

名詞 形容詞 動詞

詳しく


図4：“ちょっとした手伝い”できる事 分類（89個のご意見）



少数であっても、各グループで特徴的な話をまとめました。

グループ別PICK UP

- 1 ちょっとお腹が空いたときに、外食できる場所がなくて困ったり、子どもの居場所がなくて困っている。一方、時々料理を持って来たり、子どもが集まる場所を提供できる人がいる。
- 2 高齢化率が高く、認知症の方の徘徊がある。一方、見守り支援の充実や認知症センター研修、GPSの貸し出しの活用、訪問回数を増やすことで徘徊対策につながる。
- 3 買物やサロンに行きたいが足がない、というように交通手段がなく困っている。買物代行ができる人もいるが、一方でむやみに人を乗せて運転できないという声もある。
- 4 家の会話で困ったり、介護メニューを作るけれど夫が柔らかいものしか食べてくれない。障がい者二人を含む世帯での生活など、今後は地域で支えあい、助け合いができると良い。
- 5 移住者が数名いるが、地元の方と交流の場がない。また、自治会員が増えない。コミュニケーションの手段として話し相手ならできる、という人がいる。
- 6 いろんな観点からみて後継者が不足している。そこで、いろんな悩みを声に出すこと、対処する間を取り持つ人やグループ等が必要である。
- 7 地域問題として、木の枝が境界から自分の家まで伸びていることがある。地主に話すが自分で切ってくれと言われる。業者を雇って伐採するにも費用が高く、伐採に踏み切れない。
- 8 いろいろな相談を受けても、どこまで介入していいか迷う。信頼されているからこそ、相談を受けるので、まずは信頼関係を作ること、一声かけること、毎月第1日曜に開催の心配事相談の案内をしてはどうか。
- 9 介護職員が不足している。多くの人が介護初任者講習を受講し、介護の資格を取得できるよう勧めたい。また、高齢者が介護初任者講習を受講し、高齢者が高齢者を介護するシステムを整備したらどうか。

自分にとって

自分や人の困り事・できること

11月の講座に参加できなかった皆さん、お読みいただきながら参加したつもりで自分や身近な人の困り事を考えてみてください。あなたにもできること、あるかも！？

気づきや考え方を伝えてください

気づいたこと、考えたことを社会福祉協議会へお伝えください。メールや電話等、どんな手段でも構いません。あわせて、家や学校、職場、地区の集まり等で思いを共有してみましょう。皆さんの発見が困り事解決への糸口です。

これからのこと

「行ってみよう！」

① おいでなしてボランティア祭

日時：3月3日（土）10:00～ 会場：原村地域福祉センター
ワクワクと関心、仲間を探そう、話そう。「やってみたい」を「やる」に変える、気の合う仲間と出会えるかも。

② 第2回 我が事・丸ごと地域づくり講座

開催決定！
【詳細は後日】

③ 講座「移動・公共交通を学び、考える」

意見投稿
フォーム

発行・問い合わせ

社会福祉法人
原村社会福祉協議会

原村6649-3 原村地域福祉センター内

TEL 0266-79-7228

メール soumu@haramura-syakyou.or.jp

